

# 3年 国語 シラバス

## 1 国語科の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次の通りに育成することを目指す。

- (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

## 2 教科における重点目標等

登場人物の心情や段落の役割を考える際などに行う話し合い活動を通して、根拠をもとに伝え合う力を育成するとともに、他人の意見に耳を傾けて自分の意見を修正し、主張できる力を育成する。

## 3 学力を向上させる方法

### (1) 聞く・話す力

話は集中して聴く。要点を押さえてメモをとる。話すときは、単語ではなく文章で伝える。話すときは結論を述べ、その根拠や理由を付け加える。

### (2) 読む力

日ごろから読書に親しむようにする。音読をつづける。文学的文章では、情景・心情描写に気をつけ、説明的文章では、論理の展開に気をつけて自分の考えをもつようにする。

### (3) 書く力

日ごろから語彙を増やすよう心がける。「誰に対して、何を伝えるために書くのか」を意識してまとめるようにする。自分の考えや気持ちについて根拠を明確に書くようにする。

## 4 評価の観点

評価の観点	観点の内容	評価の方法
知識・技能	社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	テスト、作文やワークシート等の内容
思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わり合いの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	テスト・授業中の発言や話す・聞く態度、四人班やクラス全体での話し合いの様子、作文やワークシート等の内容
主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとしている。	授業態度・挙手発言・ノートやワークシート、ワーク等の記入提出

## 5 家庭学習の仕方

- (1) 教科書を音読し、読めない漢字やわからない言葉を調べておく。
- (2) 授業でのノートやワークシートを読み返し、学んだことの復習をする。
- (3) 単元が終わったら確認でワークに取り組み、苦手な部分の直しをする。
- (4) 漢字は、学習したものをどんどん使う。覚えにくいものは、反復してマスターする。
- (5) 新聞の社説などをノートに写し、自分の考えを書く。

## 6 年間学習予定

学期	単元名	学習のポイント
1 学 期	世界はうつくしいと 握手 評価しながら聞く 情報処理のレッスン 学びて時にこれを習ふ 硬筆 作られた「物語」を超えて 思考のレッスン 説得力のある構成を考えよう 報道文を比較して読もう 俳句の可能性／俳句を味わう 言葉を選ぼう 「私の一冊」を探しに行こう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉が持つ価値を認識する。</li> <li>・登場人物の生き方から、人の生き方を考える。</li> <li>・情報の信頼性の確かめ方を理解し使う。</li> <li>・歴史的背景を意識して古典の世界に親しむ。</li> <li>・ペンを使って行書で丁寧に書く。</li> <li>・筆者の論理の展開の仕方を捉える。</li> <li>・具体と抽象など情報の関係について理解する。</li> <li>・論理の展開を考えて話の構成を工夫する。</li> <li>・文章を批判的に読み、文章中の考え方を捉える。</li> <li>・俳句の世界に親しむ。</li> <li>・もっと「伝わる」表現を目指す。</li> <li>・読書生活を振り返り、今後の読書生活を考える。</li> <li>・読書を楽しむ。</li> </ul>
2 学 期	挨拶 故郷 聞き上手になろう 人工知能との未来 説得力のある批評文を書く 話し合いを効果的に進める 初恋 古今和歌集仮名序 君待つと 夏草 誰かの代わりに 書き初め グラフを基に小論文を書く エルサルバドルの少女ヘスース	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作者のメッセージを受けとめ、考える。</li> <li>・作品を通して人間と社会との関わりについて考え、自分の意見をもつ。</li> <li>・内容にふさわしい文章の形を選び書く。</li> <li>・質問で相手の思い・考えに迫る。</li> <li>・文章を読み、考えを深め、自分の意見を持つ。</li> <li>・多角的に分析して、読み手に伝わるように書く。</li> <li>・相違点と共通点に注目し、論点をまとめる。</li> <li>・音読を楽しむ。</li> <li>・昔の人の気持ちや情景を読み取る。</li> <li>・作者のものの見方や感じ方を読み取る。</li> <li>・文章理解、表現に必要な語句の量を増やす。</li> <li>・行書でバランス良く書く。</li> <li>・情報を読み取って文章を書く。</li> <li>・ノンフィクションを読み、考える。</li> <li>・文章を比較して読む。</li> </ul>
3 学 期	三年間の歩みを編集しよう 温かいスープ 誰かの代わりに わたしを束ねないで	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポートフォリオを編集し、自分の歩みを振り返る。</li> <li>・自分の夢や人生について考える。</li> <li>・自分の言語生活を振り返る。</li> <li>・詩を読み味わい、朗読する。</li> </ul>